

39 宝達山水源の森



1. 森林の状況

面積: 500ha

標高: 500～637m

森林の種類: 人工林50%、天然林50%

主な樹種: スギ・フナ・ミズナラ・コナラ・シデ・オニグルミ(針葉樹65%、広葉樹35%)

林齢: 約60年

制限林の指定:

水源かん養保安林 明治33年

保健保安林 昭和58年

2. 水源の状況

種類: 流水(宝達川)

利用状況: 簡易水道69戸 222人、農業用水210戸 308ha、生活用水100戸 400人

水源の流量: 129,000m³/日

3. 地域の概況

能登半島の付け根にあり、能登の最高峰である宝達山を源流とする宝達川流域で、下流域に水道水や農業用水等を供給しています。

宝達山は花崗岩が風化したもろい地質で、昔は下流の田畑が土砂で埋没したこともあり、宝達川は「天井川」となっています。このため、明治以降は森林の伐採を禁止し、治山事業等により土砂の流出防止や水源かん養を図ってきました。

山頂からの眺望はすばらしく、晴れた日には、遠く白山や立山連峰を望むことができます。また、「山の龍宮城」と呼ばれている休憩施設や遊歩道等が整備されており森林レクリエーションや自然教育の場として利用されています。

所在地: 石川県羽咋郡宝達志水町字宝達

4. アクセス

鉄道: JR七尾線「宝達駅」下車、タクシーで20分で山頂、またはタクシー5分で登山口到着、徒歩2時間で山頂。

車: のと里山海道「今浜IC」から30分

問い合わせ先: 宝達志水町役場 Tel 0767-29-8240